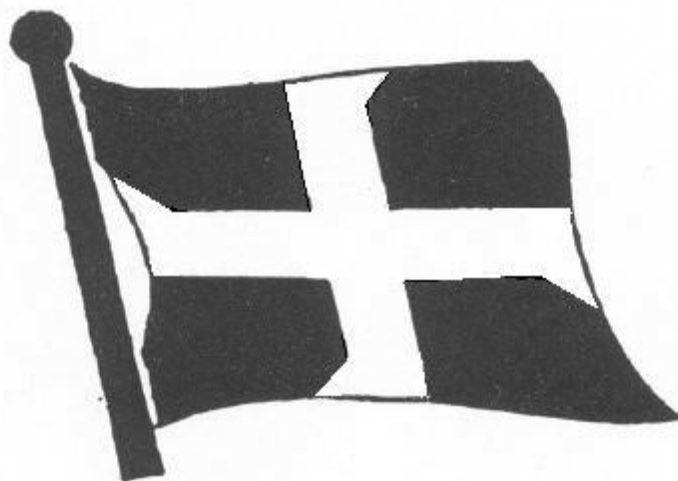


蒼穹 NEWS

NO.4

七大戦展望号

令和5(2023)年 7月 18日発行



—目次—

- ①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②七大戦展望
- ③七大戦日程

①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

7月21日、22日に大井陸上競技場にて七大戦が開催されます。今年の京都大学は男女総合優勝を目標としています。

男子について、エントリー時点でのランキングは大阪大学がやや抜け出し、名古屋大学と京都大学がそれに続く状況となっておりますが、1位の大阪大学との点差も20点ほどで十分に射程圏内になると考えております。女子について、エントリー時点でのランキングでは京都大学が1位となっており、僅差で東北大学、大阪大学、名古屋大学が追っている状況です。

今シーズンは多くの選手が自己ベストを更新しており、先々月の関西インカレからの期間で、実力を大幅に伸ばしている選手も少なくありません。実力、勢い共に付いてきている状況ですので、当日も攻める気持ちを忘れずに、男子はランキングを返し、女子はランキングを守り、チーム一丸となって総合優勝できるように戦い抜いて参ります。

蒼穹会の皆様には、日頃よりご支援を賜りまして誠にありがとうございます。当日も、ご多忙の中だとは思いますが、現地からも遠方からも熱い応援をどうかよろしく願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 齋藤 啓

《女子主将挨拶》

七大戦のチーム目標である男女総合優勝に向けて、これまで部員一同練習を重ねて参りました。女子については、事前ランキング1位という近年稀に見る好況です。これはひとえに部員の努力のおかげです。そうは言っても、油断できるような状況では決してありません。どの種目もこれまでの練習の成果を発揮できるよう、果敢に挑みます。常に前を見続けてランキングを返し、1点でも多く掴み取りにいきます。

蒼穹会の皆様におかれましては、東京という遠方ではございますが、ぜひ会場へ足を運んでいただければと存じます。強くなり続ける私たちの姿をどうぞご期待ください。そして、熱いご声援を何卒よろしく願いいたします。

京都大学陸上競技部女子主将 三好 紗椰

《監督挨拶》

今年の目標は男女総合優勝です。京大陸上部は過去に何度もこの目標を掲げて戦った年がありましたが、毎度他大学の厚い壁に阻まれ続けてきました。しかしながら今年こそは、過去の先輩方の積み重ねとこのチームの1年間の取り組みの集大成として、なんとしても成し遂げたいと考えています。

この1年間、齋藤と三好の両主将を中心に4回生がチームを引っ張り続け、見事にチーム力の底上げをしてきてくれています。他大学も成長著しく、今年は各種目で非常にハイレベルな戦いが予想されます。優勝に向けては各種目で満遍なく点を獲得することが必要です。特に男子では得点に伸び代のある中長距離種目と投擲種目での飛躍は必要不可欠でしょう。当日は全選手とも最高の状態で臨みます。

今年の七大戦は東京開催であり、普段の関西圏での試合と比べて足を運びやすいという方も多いと思います。蒼穹会の皆様におかれましては、当日はぜひ現地にて熱い声援をいただけますと幸いです。

京都大学陸上競技部監督 仲村 快太

②七大戦展望

～短距離～

男子100m

高田(3) 10"79

山田(3) 10"92

石原(2) 10"87

3回生高田、3回生山田、2回生石原が出場。

高田は、資格記録こそ5位に留まっているがタイム以上の実力をこれまで数多く発揮してきた。七大戦では公認ベストを更新して、京大の歴史に名を刻むような活躍をして欲しい。山田は、春先での腰の怪我で離脱期間が長かったが、地道にリハビリをこなして見事に復帰を果たした。先日の復帰戦ではPB水準に近い10.67(+3.0)を記録、ここから更に調子を上げて2年連続の表彰台を期待したい。石原は、資格記録上では決勝進出ラインのボーダーに位置しているが、これまで大舞台での勝負強さを発揮してきた。10秒台が多数いる熾烈な戦いが予想されるが、3人全員で勝ちきって大量得点を重ねたい

男子200m

藤浦(4) 22"55

高田(3) 22"05

高橋(2) 21"69

4回生藤浦、3回生高田、2回生高橋が出場。(藤浦は、2回生石原と交代の可能性あり。)

4回生藤浦は、スプリントを向上させて、100や400でPBを更新してきた。決勝進出には少なくとも22秒前半が必要となるため、200においても自己ベストの大幅更新による決勝進出を目標とする。

3回生高田は、100以上に200に強みがある選手。持ち前の後半のノビを活かして大ベスト更新を期待したい。

2回生高橋は、先日の広島県選で21.88(-2.1)で優勝、100m200mでの二冠を果たすなど、持ち前のスプリントに磨きをかけている。本人は資格記録1位である阪大の梅田に勝つことを目標としているため、ランキングをかえして優勝を成し遂げて欲しい。

男子4×100m

走順は未定。持ちタイムだけで見ると、阪大

が突き抜けていて、続いて京大となる形。東大や名大も 41 秒台で安定しているので油断は出来ないが、打倒阪大での優勝を目標としている。今シーズンを通して安定したバトンパスを続けているので、今回も隙の無いバトンでタイムを縮めたい。

男子400m

益田 椋多 49.22

岩本 翔太 49.69

藤浦 敦士 49.70

益田は資格記録ランキングでは 4 位に位置づけている。他大上位陣は今季奮っていない者も見受けられ、高得点にも期待がかかる。6 月は体調不良もあり走り込みを積むことは難しかったと思うが、走りの改善にも目を向けて、繰り返し走りを確認している様子も見受けられた。この頃は本人としてはやや不調気味に感じている様子だが、客観的には実力も取り組みも確かなものは備わっている。自信を持って臨んでほしい。

岩本はランキングは 10 位だが、8 位は 49.67 で、13 位の 49.76 まで 0.09 秒の間に 6 名がいる。非常に混戦が予想されるが、見方を変えれば決勝進出ラインはすぐ目の前にあると言える。6 月に出した現 PB の 49.69 も、万全な状態ではなかったようであり、本人の手応えとしてもまだコンマ数秒は伸ばせる感触はあるようなので、実力通りの走りができれば決勝進出、また得点までも十分に狙えるように感じる。身体に不安箇所については対策をしっかり練って、当日思う存分走りきってほしい。

藤浦はランキングは岩本に次ぐ 11 位で、決勝進出、得点可能性についてはほぼ同様。藤浦のこのタイムもまた、しばらく練習も試合も短短に絞ってきた中で出したタイムなので、ま

だまだ本来の実力を表しているタイムではない。専門の短種目での好調の様子を見ても、得点ラインの 49.35 も普通に狙える位置にいたと思われる。会場を湧かせるような好記録を期待する。

総じて、3 者とも本数耐性には不安を抱えていることと思うが、どの組も混戦必至であり決勝進出は容易ではない。得点の期待もかかるが、まずは決勝に残ることを念頭において頑張ってもらいたい。

男子4×400m

岩崎 光起、藤浦 敦士、岩本 翔太、益田 椋多、青柳 佑、高橋 昂生 3.12.79

走順(案)は、益田、岩本、岩崎、高橋で予定。目標は優勝。

二番手の阪大には院生含む関カレでも競り勝つことができた。順当にいけば京大が優勝候補であるが、400 の混戦具合を見るに、正直どうなるか読めない部分が多い。京大だけでなく、他大のほとんどの選手についても、400 の予選から温存できないスタミナ勝負となる。ただ、私たちの強みは、そのような中でも 4 走に高橋を温存できていること。当日は午前中に 200 決勝と幅のみのため、比較的元気な状態でマイルに臨めることと思う。他の 3 名については心身ともに疲弊していることと思うが、多少失敗しても後ろには昂生がいる。最後まで出し切ってくれればきっと優勝はできる。

女子100m

三好(4) 12"55

齋藤(2) 12"82

4 回生三好。2 回生齋藤が出場。

三好は名大の祖父江と阪大の大岡との競り

合いが予想される。今シーズンは安定した記録を出しており、大舞台での勝負強さも発揮してきた。現在腰の痛みを抱えていることが大きな懸念となるが、ラスト七大戦で女子チームを引っ張るような活躍に期待したい。

齋藤はここ最近調子を上げてきており、先月の試合で、高校以来でPB タイとなる12.82を記録した。資格記録4位との差もわずかで、得点の可能性も十分あるので、自己記録の更新とW得点に期待したい。

女子4×100m

森尾(4)→齋藤(2)→平岡(3)→三好(4)

阪大や名大との熾烈な優勝争いが予想される。関カレ以降、バトンパスだけでなくそれぞれの走力にも更に磨きがかかっているため、48秒台での優勝を成し遂げて京大女子チームの強さを示して欲しい。

女子400m

中野直子 62.76
(三好、齋藤は棄権)

ランキングは10位。資格記録上は上位陣とはやや離れているものの、これまでの400の試合出場機会がそもそも少ないため、藤浦同様本来の実力を表すものではない。目標はB標61.50、そして決勝進出ということだが、この頃は短長練も積極的に入ってくれていて、練習状況から見ると十分達成できるラインのように思う。ケガなどでこれまでなかなか芳しい記録が残せていないが、ここで一ついい記録を出して今後の弾みにしてほしい。

～ハードル～

110mH

岩崎(4)15.07

五十嵐(3)15.60

男子110mHには岩崎(4)、五十嵐(3)が出場する。岩崎は前半区間に苦手意識があるものの、自信のPB付近である15.0が決勝進出のためのボーダーになる予想であるため、確実に決勝に駒を進め得点することが期待される。五十嵐はPB自体は15.60であるが、最近の練習メニューではベストを頻発しており確実に走力が上がってきているので岩崎と共に決勝進出し、大幅ベストを狙いたい。

400mH

岩崎(4)53.07
青柳(2)54.53
高橋(2)51.11

男子400mHには岩崎(4)、金盛(3)、青柳(2)が出場する。エントリー上は高橋(2)がエントリーしているが、戦略的に金盛と正補交代する予定である。岩崎は最近足に不安があり練習をあまり積めていないが、練習では52.61を出しており、優勝してチームに勢いをもたらしたいところである。金盛も足の捻挫により現在練習を一時離脱しているが、同じく練習では自己ベストの54.57を出しており、苦手としている後半をうまくクリアできればPBは確実である。青柳は昨年1回生ながら七大戦決勝に残っており、先日の名阪戦での54.53のPBのように勝負所でしっかり結果を残す選手である。3選手ともエントリータイム以上のポテンシャルを持ち合わせているので、1-3位を京大で独占する予定である。

100mH

新保(3)16.28

平岡(3)14.80

女子 100mH には新保(3)、平岡(3)が
出場する。新保は得点ラインからはやや遠い
が、今シーズンすべて向かい風の中でのレ
ースであったので七大戦では追い風に乗
り、15 秒台を出して京大に勢いつけるこ
とが期待される。平岡はいわずもがな対校
戦で勝負強い選手である。ここぞという時
にしっかり結果を残せる選手であるので優
勝といわずに 14 秒前半を出して京大記録
を大幅に更新してもらいたい。

～中距離～

男子 800m

平山悦章(3) 1'54"46

杉原一冨(2) 1'54"29

西川洸平(3) 1'54"93

本種目には杉原(2)平山(3)西川(3)が出場
する。ランキング上位の選手を見るとかなりハ
イレベルな戦いが予想される。杉原は競技復
帰から順調に調子を上げており、持ち前の勝
負強さを生かし上位を狙ってほしい。平山は
今シーズン PB を更新している選手である。二
本目のレースが課題であったが、それを意識
して練習を行ってきた。練習の成果を発揮す
れば上位入賞も見えてくるだろう。西川は
1500mに続いての出場となるが、それを想定
した練習量をこなしてきた。疲れを見せない走
りで上位に食らいつきたい。ランキングでは杉
原が5位、平山が6位、西川が8位につけてお
り、全員決勝進出そして全員入賞に期待がか
かる。

男子 1500m

西川洸平(3) 3'59"65

小井稜真(3) 4'02"58

奥村究(2) 4'12"45

本種目には西川(3)小井(3)奥村(2)が出場
する。ランキングでは入賞ライン付近の選手の
実力が拮抗しているため、レースでの位置取
りが鍵となるだろう。西川は練習水準が去年と
比べて上がってきており、上位に食い込み、チ
ームを勢いつける走りに期待したい。小井は
今シーズン大幅に PB を更新している勢いの
ある選手である。初の3分台と入賞で去年のリ
ベンジを果たしたい。奥村は資格記録以上の
実力を練習で示している選手である。本種目
のダークホースとして持ち前のスピードを生か
しスパート勝負で入賞を目指してほしい。

女子 800m

服部颯希(1) 2'19"62

小倉唯愛(2) 2'19"71

本種目には小倉(2)服部(1)が出場する。小
倉は去年、怪我で悔しい思いをしたが、今年に
入って PBに迫るタイムを出した。一時期調子
を落としたが、七大戦に向け練習でも復調の
兆しが見える。持っている実力は確かなので
自信をもって上位に挑んでほしい。服部は新
入生でありながらここまで順調に練習を積み、
体力を徐々に戻してきた。資格記録は3位で
はあるが、気負い過ぎず対校戦の雰囲気は肌
で感じ、これからの糧にしたい。

～長距離・競歩～

男子5000m

三嶋友貴(3) 15.28.61

江端康汰(4) 15.45.85

稲田正裕(2) 15.47.62

関西インカレ A 標準付近に得点ラインがある

ハイレベルな男子 5000m には、江端(4)、三嶋(3)、稲田(2)が出場する。3 選手ともに 15 分台中盤のタイムを持つ選手であり、得点はやや厳しい状況にある。しかし恐れることなく果敢に攻め、爪痕を残す走りをしてほしい。江端は先月 PB に迫る走りを見せており、状態はよい。突っ込んで入った場合、最後まで粘り切れるかが順位を大きく左右するだろう。三嶋・稲田は伊勢予選では苦しい走りになったが、その後基礎から練習を積み上げてきた。秋の駅伝シーズンに向け、まずはこの舞台で一人でも多くの選手を食い、飛躍の兆しを見せてくれるであろう。今回も難しい展開になることは避けられないだろうが、挑戦する心意気を最後までもって走ってほしい。

男子3000mSC

梅原佑介(3) 9.58.24
斎藤優成(3) 10.27.39
伊藤寿真(2) 10.42.64

男子 3000mSC には、梅原(3)、斎藤(3)、伊藤(2)が出場予定である。なお、滋賀県選手権の結果によっては、補欠の小井(3)が斎藤と交代する可能性もある。梅原はランキング 7 位につけており、6 位とは資格記録で僅か 2 秒の差である。絶対に負けられない。6 月まで貧血で苦しんできたが、回復してからは調子を上げてきている。昨年も七大戦で大幅 PB を出した選手である。今年もこの舞台で PB を出し、得点を持って帰ってきてほしい。斎藤は状態があまり上がらない中ではあるが、ここまでの試合では SB・PB を出している。今回も暑さに負けず、次期 PC として意地を見せてほしい。伊藤は先月 5000m で PB を出しており、その後の練習も順調に積めているため、自信をもって走ってほしい。ランキングでは下位に位置しているが、10 分 05 秒付近の選手ら

と競り合いながら PB を狙っていきたい。

男子5000mW

原圭佑(4) 22.33.28
尾原翔(4) 22.43.04
土田浩生(1) 23.11.11

男子 5000mW には、尾原(4)、原(4)、土田(1)が出場する。ランキングの 5~7 位を京大が持っており、得点は必須条件となる。さらにランキング上位は、総合得点でも重要な名大・阪大が占める。21 分台の持ちタイムを持つ名大伊里、阪大赤峰・松井らと競りながら、一人でも多く他大学の選手を食い、勢いをもたらしたい。原は競歩の経験が少ないながらも驚異的なペースで成長を見せており、今大会でも飛躍が望まれる。尾原は最後の七大戦で、昨年の 6 位から一つでも順位を上げる歩きを見せたいところだ。土田は 1 回生ながら入部以来順調に練習できている。今後は七大戦だけでなく関西インカレや全国の舞台でも活躍が見込める選手だ。強い京大競歩を継ぐ選手として、ここで名乗りを上げてほしい。

女子3000m

濱口姫生(1) 9.51.64
周藤紗季(3) 11.22.16

女子 3000m には、周藤(3)、濱口(1)が出場する。周藤は大きな離脱なく練習を継続できるのが強みの選手だ。得点までは持ちタイムで 1 分ほどとやや遠い位置にあるが、タイムを伸ばすだけの練習は十分できている。恐れずに挑戦してほしい。濱口は高校時代にマークした 9 分 51 秒の持ちタイムでランキング 1 位につけており、受験のブランクを取り戻しつつある。他大学の選手も強く、ランキングを守ることは容易ではないが、将来京大の顔となる選手

として、1点でも多くの得点をもたらしてほしいところだ。

～投擲～

男子砲丸投

安藤正貴(3) 7m91

金盛圭悟(3) 7m38

大住圭樹(3) なし

安藤はあまり練習できていない状況ですが残りの時間で練習して調子を上げてほしいです。

金盛は怪我のため砲丸の練習はできていませんが、久しぶりの砲丸投の試合を楽しんでほしいです。

大住は持ち前のパワーとセンスでビッグスロー期待しています。

男子円盤投

安藤正貴(3) 30m45

岡本亜哲(3) 30m98

五十嵐聖(3) 21m00

安藤は今シーズンなかなか記録出せていませんが対校戦パワーで30m目指して頑張ってください。

岡本は目標3位とのこと。攻めた投げで表彰台乗れるように頑張ってください。

五十嵐は110mHと時間が被っていますができる範囲で楽しんで投げてほしいです。

男子ハンマー投

木之下隆弘(4) なし

安藤正貴(3) 21m89

岡本亜哲(3) 22m21

木之下は毎日練習していて確実に成長しています。最後の七大戦で楽しんでほしいし得

点目指して頑張ってください。

安藤は専門種目でなくてあまり練習できていませんが得点目指して頑張ってください。岡本はランキング6位で点を持っていますが、一つでも上の順位を目指して頑張ってください。

男子やり投

岡本亜哲(3) 37m24

大住圭樹(3) 40m45

木下賀貴(1) なし

岡本は練習でいい感じに投げられていたの楽しく投げることに大幅PBを期待しています。

大住はコツコツ練習できています。助走を伸ばして45m投げてきてほしいです。

木下は大学初の試合となりますが得点目指して1回生らしく思い切り投げてきてほしいです。

女子砲丸投

篠田佳奈(3) 10m97

新保歩(3) 9m38

篠田は優勝できるように頑張ります。

新保は事前ランキング3位です。多種目出場にはなりますがPB出してランキング返してほしいです。

女子やり投

篠田佳奈(3) 56m57

新保歩(3) 33m18

篠田は自分との戦いになるので集中して自分の世界に入り込めるように頑張ります。

新保はランキング3位ですが2位との差はほとんどないためPBを出して2位をとってき

てほしいです。

～跳躍～

男子走高跳び

鴛原泰輝(2m00)

山中駿(2m22)

田中颯真(1m95)

男子走高跳には4回生鴛原、3回生山中、2回生田中が出場する。

鴛原については踵の怪我などで調子を崩していたが、6月に休養を経て調子を戻してきた。七大戦はランキングが上位であるためプレッシャーを感じるかもしれないが四回生の意地を見せて得点を確保してほしい。山中については、状態としては6月上旬からの連戦で疲労がかなり溜まっている。それでも優勝する実力は十分あると思うので堂々とパフォーマンスしてほしい。田中については、関西インカレ以降技術の改善を図っていたが、その成果が最近練習で出始めた。今シーズンは現状あまり思うような結果を出せていないかもしれないが、PBを出せるポテンシャルは十分にある。臆することなく跳躍してほしい。

男子棒高跳

深井颯一郎(3m80)

吉富文暁(4m00)

男子棒高跳には3回生深井、2回生吉富が出場する。

深井については関西インカレの標準切りチャレンジ以降地道にポールの技術を改善しており、PBである3m80付近の記録は安定して出せるようになった。ランキング上得点を返せるチャンスは十二分にあると思われるので関西インカレB標準である4m、またそれをさら

に超える記録を出してほしい。吉富については、今シーズン序盤は合宿時の怪我により練習に参加することさえできない期間が続いたが、それでも怪我が完治してからは自分に必要な技術を見極めた上でその練習に励んできた。先日の名阪戦OPでも自己ベストの4mを跳んだので勢いそのままに七大戦でもPBを更新し会場を沸かせてほしい。

男子走幅跳

齋藤啓(7m11)

梶慎介(7m05)

高橋昂生(7m45)

男子走幅跳には4回生梶、4回生齋藤、2回生高橋が出場する。

梶については関西インカレ前から抱えている腰の痛みに加えて関西インカレで負った膝の捻挫により6月はあまり練習を積めなかった。しかし走幅跳で得点を返せるかどうかは今回の大きな鍵になるのでPBを更新するジャンプを見せたい。齋藤については岡山県選手権でPBタイをマークするなど関西インカレ以降好調を見せている。主将として格の違いを見せるようなジャンプを見せてほしい。高橋については関西インカレ優勝、西日本インカレ入賞とその実力は折り紙付きである。多種目出場のため難しい試合にはなるが、圧巻のジャンプで実力を見せつけてほしい。

男子三段跳

梶慎介(15m43)

齋藤啓(14m87)

松井和輝(14m17)

男子三段跳には4回生梶、4回生齋藤、2回生松井が出場する。

梶については、先述の通り怪我を負っている

ため万全の状態ではあるが、七大戦優勝のためにはここで得点を確保することが必要となってくる。実力をきちんと発揮して6点を持って帰りたい。齋藤についても先述のとおりで岡山県選手権ではPBを更新するなど好調を見せている。15mを超えるビッグジャンプを見せて会場を大いに盛り上げてほしい。松井については6月上旬の連戦で疲労が溜まってしまい体が思うように動かない時期があったが、最近になり調子を戻してきた。関西インカレ標準切りチャレンジで悔しい思いをした分、ここでPBを更新して表彰台を独占してほしい。

女子走高跳
新保歩(1m50)

女子走高跳には3回生新保が出場する。
女子走高跳はハイレベルな試合になっており、ランキング上新保は得点ラインに現状入っていない。しかし七種競技選手としての練習を

積む中で走高跳の技術は大幅に成長し、春先には七種競技の中で走高跳のPBを更新した。本番でもPBを更新し点数を持って帰ってきてほしい。

女子走幅跳
新保歩(4m74)

女子走幅跳には3回生新保が出場する。
女子走幅跳もハイレベルな試合が予想されるが、本番で5mを跳べば得点のチャンスは十分ある。多種目出場のためかなり難しい試合にはなるが、本人もPBの更新はできそうだと言ってくれているので、大逆転勝利を期待している。

③七大戦日程

第74回 全国七大学対校陸上競技大会
第34回 全国七大学対校女子陸上競技大会
令和5年7月22日(土)・23日(日)
大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森陸上競技場

一日目

トラック競技				
開始時刻	種目	ラウンド	組-着+ α	出場選手(対校の部)
8:30	男女 5000mW	OP	1	
9:15	男女 5000m	OP	1	
9:40	男子 5000m	OP	3	
10:30	女子 400m	OP	2	
10:40	男子 400m	OP	14	
11:40	女子 1500m	OP	2	
11:55	男子 1500m	OP	9	
12:55	女子 100m	OP	4	

13:10	男子 100m	OP	31	
14:40	男子 200m	予選	3-2+2	藤浦(4)、高田(3)、高橋(2)
15:05	男子 1500m	決勝	1	西川(3)、小井(3)、奥村(2)
15:20	女子 400m	予選	2-3+2	中野(3)
15:30	女子 4×400m	OP	1	
15:40	男子 4×400m	OP	7	
16:30	男子 4×100m	決勝	1	

跳躍競技

開始時刻	種目	ラウンド	出場選手
9:45	男子走幅跳	OP	
10:00	男女棒高跳	OP	
12:30	女子走幅跳	OP	
14:40	男子三段跳	決勝	梶(4)、斎藤(4)、松井(2)

投擲種目

開始時刻	種目	ラウンド	出場選手
9:45	男女やり投	OP	
13:40	男子砲丸投	OP+決勝	安藤(3)、金盛(3)、大住(3)
15:00	女子やり投	決勝	篠田(3)、新保(3)

二日目

トラック競技

開始時刻	種目	ラウンド	組-着+ α	出場選手
9:00	男子 5000mW	決勝	1	尾原(4)、原(4)、土田(1)
9:40	男子 5000m	決勝	1	江端(4)、三嶋(3)、稲田(2)
10:05	男子 200m	決勝	1	藤浦(4)、高田(3)、高橋(2)
10:15	女子 3000m	決勝	1	周藤(3)、濱口(1)
10:30	男子 400mH	予選	3-2+2	岩崎(4)、高橋(2)、青柳(2)
10:55	男子 400m	予選	3-2+2	藤浦(4)、岩本(3)、益田(3)
11:15	女子 100m	予選	2-3+2	三好(4)、斎藤(2)
11:25	男子 100m	予選	3-2+2	高田(3)、山田(3)、石原(2)
11:45	男子 110mH	予選	3-2+2	岩崎(4)、五十嵐(3)
12:05	女子 100mH	決勝	2	平岡(3)、新保(3)
12:20	男子 800m	予選	3-2+2	平山(3)、西川(3)、杉原(2)
12:45	男子 400m	決勝	1	藤浦(4)、岩本(3)、益田(3)
12:55	女子 400m	決勝	1	中野(3)

13:05	男子 400mH	決勝	1	岩崎(4)、高橋(2)、青柳(2)
13:25	男子 3000mSC	決勝	1	梅原(3)、斎藤(3)、伊藤(2)
13:50	女子 100m	決勝	1	三好(4)、斎藤(2)
14:00	男子 100m	決勝	1	高田(3)、山田(3)、石原(2)
14:15	女子 800m	決勝	1	小倉(2)、服部(1)
14:25	男子 800m	決勝	1	平山(3)、西川(3)、杉原(2)
14:45	男子 110mH	決勝	1	岩崎(4)、五十嵐(3)
15:05	女子 4×100m	決勝	1	
15:25	男子 4×400m	決勝	1	

跳躍競技

開始時刻	種目	ラウンド	出場選手
9:00	女子走幅跳	決勝	新保(3)
9:30	男子棒高跳	決勝	深井(3)、吉富(2)
11:45	男子走幅跳	決勝	梶(4)、齋藤(4)、高橋(2)
12:15	女子走高跳	決勝	新保(3)
14:15	男子走高跳	決勝	鴛原(4)、山中(3)、田中(2)

投擲競技

開始時刻	種目	ラウンド	出場選手
9:00	男子ハンマー投	決勝	木之下(4)、安藤(3)、岡本(3)
10:00	女子砲丸投	決勝	篠田(3)、新保(3)
11:30	男子円盤投	決勝	安藤(3)、岡本(3)、五十嵐(3)
14:00	男子やり投	決勝	岡本(3)、大住(3)、木下(1)



蒼穹ニュース 令和5年度 第4号

令和 5年 7月 18日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部

編集者:白星祥吾・田中颯真・平松藍(副務)

特別協力:高山兼輔・平林里和子(学連員)

写真担当:伊藤寿真・川瀬稔己・照山潤(写真係)

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>

陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス shirahoshi.shougo.56f@st.kyoto-u.ac.jp(白星)